

# 探究科1年生、英語で夏休みの研究をプレゼンテーション！

平成30年9月21日の午後、探究科1年生80人は、「国際交流学習Ⅰ」を実施しました。コモンホールと図書室を会場に、山口大学工学部、医学部と宇部高専の外国人留学生・教員16人を招いて、夏休みに実施したミニ課題研究（ホームプロジェクト）の内容を英語で説明するとともに、外国人の母国の話を聞き、交流しました。この行事の開催にあたり、生徒は研究の英訳や英語でのプレゼンに向けて「プロダクティブイングリッシュ」や「基礎探究」の時間を使って、準備・練習してきました。伝えたいことを英語で表現し、伝わる楽しさ、伝わらない悔しさを感じながら、コミュニケーションのコツや英語学習の意義を学んだ大切なひとときとなりました。



## 生徒の感想より

- ・ 実際に海外の人と話すことで、日頃の授業では学ぶことのできない多くのことを学んだ。特に英語を話す楽しさがわかった気がする。
- ・ 留学生の人が相づちを打って聞いてくださったのがうれしかった。もっと話せるようになりたいと思ったし、自信の無い英語をごまかすのではなく、ゆっくり、はっきり大きな声で話そうと気づけた。
- ・ 発音と語彙力を磨きたいと心の底から思った。
- ・ 大学生や外国人としての視点の話が面白くてためになった。
- ・ 留学生の話す英語にもくせがあり、国によって違いがあることがわかった。

## 外国人留学生・教員の感想より

- ・ 生徒の皆さんのプレゼンテーションに感心した。自信をつける機会になったと思う。こうした活動は継続していくべきである。
- ・ 発表のテーマが多彩で興味深い。生徒は積極的でものおじする様子はみられなかった。
- ・ 相互に学ぶという姿勢が特によい。こうした活動を通して協力と相互理解が進むと思う。
- ・ 生徒は礼儀正しく、よく考え、研究を行っていた。こうした活動は生徒に刺激を与え、創造性を育む。
- ・ 生徒は優秀で、可能性に満ちている。来年も参加するのを楽しみにしている。

## <参加してくれた留学生・教員のみなさん>

ソルシさん（イラン）、ティアさん、グランディさん、リザさん、カリナさん（インドネシア）、ワニさん、アイシャーさん（マレーシア）、アンさん、ナムさん（ベトナム）、ラセルさん（バングラデシュ）、シュさん、コさん、ギョウさん、リさん、ロさん、ダンさん（中国）